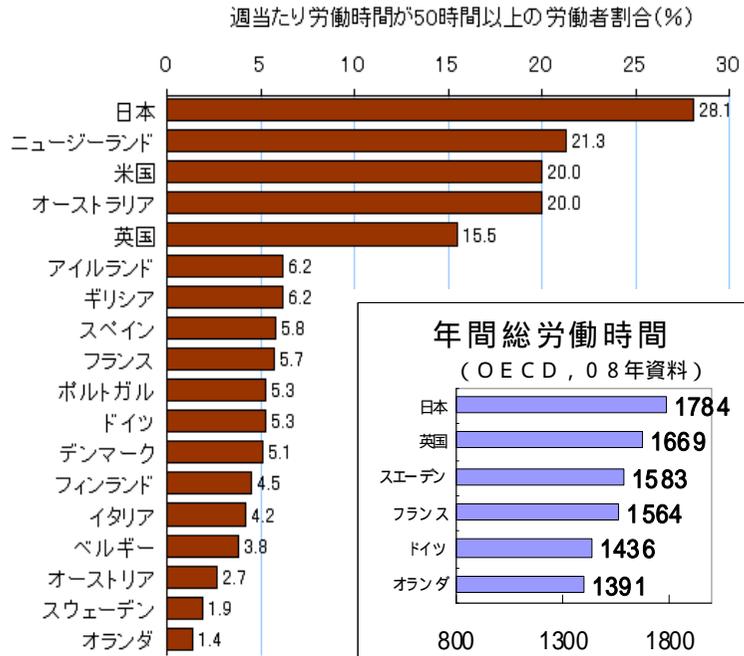


ものづくりの 国際標準には工業の I S O、電気の I E O、電気通信の I T Uがある。

長時間労働者比率(2000年)



(注) 米国データは1998年。米国と日本は49時間以上働いた比率。
 原資料はILO, "Working Time and Workers' Preferences in Industrialized Countries: Finding the Balance" (2004)
 (資料) 内閣府「平成18年版国民生活白書」

働くための最低限のルールは 世界標準 (ILO条約: 国際労働機関) で

労働条件を改善するための組織 ILO (国際労働機関) は1919年に設立され、今年で90年の現在の加盟国は183カ国。日本は10カ国の常任理事国の1つ。約と199本の勧告をだしている。日本の批准は48本で100を越えるフランス、イタリアなどより少ない。批准国は国内法に取り入れる義務が生じます。日本の長時間労働なども、労働時間に関する17本の条約の批准ゼロから発生している。

条約批准が25%の日本は公正な働くルールと言えます、先進国最低

全世界の労働者に働く権利をフェア(公正)なものに

基本原則 = 「労働は商品ではない」「一部の貧困は、全体の繁栄にとって危険である」
 ディーセントワーク・人間らしい働き方を

第132号 有給休暇

最低でも1年勤務で15日の休暇 (1970年)
 病気は別立て。退職時での残余休暇の補償清算

第140号 有給教育

社会教育や労働組合の教育など教育目的の有給休暇の付与 (1974年) 永続的な財源を確保すること

第1号 8時間労働

1日8時間 週48時間 (1919年)
 現在の日本は労働時間の上限規定なし

第47号 週40時間制

労働時間の短縮 (1934年)
 時短をしても労働者の生活水準を下げないこと

労働時間に関する4本を批准すれば日本が変わる。

09年11月・特別号

あすなる

沖電気の職場を明るくする会

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006

http://oak47-02.web.infoseek.co.jp

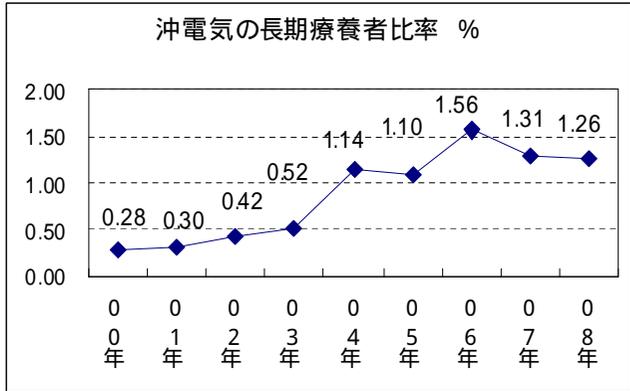
職場新聞「あすなる」はOKIの職場新聞として1986年に発刊しました。「会」は「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られました。

君 死にたもうなけれ 今日 残業やめて帰ろうよ

人間らしい働き方で過労死をださない職場を

厳しい職場環境
長期療養者は高どまり

沖電気従業員の仕事と身体の不調増大という企業の病が顕著になったのは02年のリストラから。右のグラフは労組員で当年12月に3ヶ月以上欠勤（長期療養）している人の割合です。08年も異常値の1%を超える危険状態です。

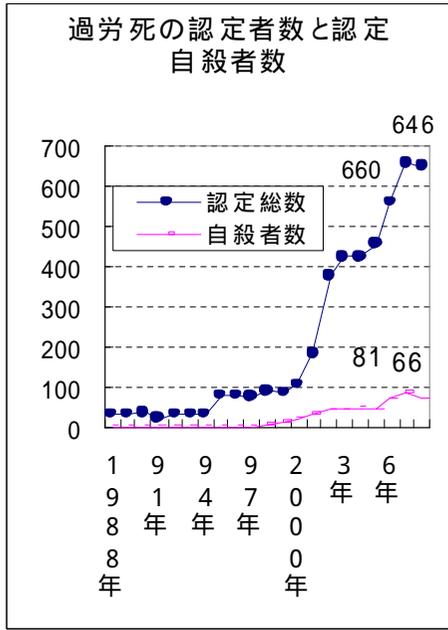


あなたの残業時間は「過労死ライン」を超えていますか
リストラ、構造改革が続く沖電気の職場では、月80時間を超える過労死ライン以上の残業など、非人間的な労働が常態化して、心と身体の健康不安が拡大しています。

労使協定（36協定）の許容残業時間の見直しも必要です。

《基本》
・1ヶ月 40時間以内
・1年間 300時間以内

《特例・例外業務》
・1ヶ月 60時間以内
・1年間 900時間以内



増大する過労死認定（08年は646人）
自殺者の過労死認定も増加（08年は66人）

《08年度・労働災害認定》
申請者1816人
認定率35.6%

企業中心の日本社会で労働災害を訴えることは、容易ではない。そんな環境でも、勇気をだして「働かせ方に問題あり」と訴える本人や家族が増大している。毎年3万人を超える自殺者などとともに社会問題である。

08年過労で心の病を訴えた人は927人で認定者は過去最多の269人（うち自殺者は66人）。脳・心臓疾患で訴えた人は689人で認定者は377人（うち死亡者は158人）

来年4月
《労働基準法改正》
月60時間超の残業時間割増率が50%に。
有給休暇は時間単位の取得が可能になります。
詳しくは労使の協定で定められます。
下図は現在の各国の割増率。

国/機関	割増率 (%)
沖電気	30
日本 平均	28.3
日本	25
オーストラリア	50
中国	50
パキスタン	50
ネパール	50
モンゴル	50
韓国	50
インド	100
アメリカ	50

労使は派遣など非正規を含む従業員の雇用・生活・健康を守るのが社会的責任です。

